

改版にあたっての序

1988年9月に刊行された眼科用語集は、1万部が印刷され、日本眼科学会会員の全員に配布された。さらにこれと同じものが医学書院から市販用として刊行された。後者については、増刷の機会に明瞭な誤植だけが訂正され、89年8月に第1版第2刷、90年7月に第3刷として刊行されている。

眼科用語集は、本来ならば大幅な改訂の上、決定版を作成すべきではあるが、時間的な制約などから、大改訂は次の機会に見送ることとし、会員諸氏からいただいた批判などをもとに、今回の第2版を企画した次第である。

改訂にあたっては、眼科本来の用語を主な対象とした。このために、たとえば「性」の使い方にも見られるように、必ずしも趣旨が一貫しない例が散見されるが、これは現時点ではやむを得ないこととご承知願いたい。なお、改訂に際しての問題点については、日本眼科学会雑誌に詳細を説明する予定であるので、いずれご参照していただければと願っている。

日本眼科学会用語委員は、秋谷忍、白井正彦、内田幸男、本田孔士、丸尾敏夫、清水弘一の6名であり、これらが改訂の作業の中心になったが、会員各位からの貴重なご意見を十分に参照させていただいた。とくに、馬嶋昭生、深見嘉一郎、宇山昌延の3教授からは格別のご教示をいただいたことをここに付記し、謝意を表する次第である。

平成3年3月30日

日本眼科学会用語委員会
代表 清水弘一